

令和3年6月定例教育委員会会議

- 開催日時 令和3年6月24日(木)
午後1時30分～午後2時24分
- 開催場所 鹿嶋市役所 3階 会議室302
- 出席委員 教育長 川村 等
教育長職務代理者 岡見 文彦
委員 信樂 哲
委員 原 キミ
委員 大槻 啓子
委員 大崎 千帆
- 事務局出席者 教育委員会事務局部長 大須賀規幸
教育委員会事務局次長 君和田浩幸
教育指導担当参事兼課長 坂上 彰弘
総務就学課長 久保美由紀
学校給食センター所長 笠掛 志保
総務就学課長補佐 平山麻由美
総務就学課主幹 石毛 千遥

○ 議 事

1 議 案

- 公 開 議案第23号 鹿嶋市小中一貫教育推進委員会委員の人事について
(総務就学課)
- 公 開 議案第24号 鹿嶋市学校給食運営委員会委員の委嘱または任命につ
いて (学校給食センター)
- 公 開 報告第12号 議案に対する同意の専決について (総務就学課)
- 公 開 報告第13号 職員の人事(6月1日付け職員異動)について
(総務就学課)

2 その他

- ・令和3年第2回鹿嶋市議会定例会一般質問について
- ・教育委員会関係日程

○ 会議録

1 開 会

教育長から開会が宣言された。

2 議事録署名人の氏名

岡見委員が指名された。

3 議 案

議案第23号
(総務就学課) 鹿嶋市小中一貫教育推進委員会委員の人事について
委員の人事異動等に伴い、委員5名を解き、その後任として委員5名を新たに委嘱または任命するもの。

【主な質疑・意見等】
特になし

※議案第23号については、原案どおり可決された。

議案第24号
(学校給食センター) 鹿嶋市学校給食運営委員会委員の委嘱または任命について
前委員の任期満了に伴い、新たに委員を委嘱または任命するもの。

【主な質疑・意見等】
特になし

※議案第24号については、原案どおり可決された。

報告第12号
(総務就学課) 議案に対する同意の専決について
令和3年第2回鹿嶋市議会定例会議案の中で、教育委員会に関する部分について同意をするもの。

【主な質疑・意見等】
特になし

※報告第12号については、原案どおり承認された。

報告第13号
(総務就学課) 職員の人事(6月1日付け職員異動)について
6月1日付け、鹿嶋市職員の人事異動を報告するもの。

【主な質疑・意見等】

※報告第12号については、原案どおり承認された。

4 その他

- ・令和3年度第2回鹿嶋市議会定例会における一般質問について

(委員) 給食費の無償化の件で、鹿嶋市の場合学校で給食費を徴収ではなくて、市が徴収しているため、学校の負担も減り、働き方改革につながっており、学校としてはありがたく感じていると思う。ただ、その分滞納率が上がってしまうと聞いている。その際に滞納の理由が生活に困窮しているからなのかどうかということを学校でも普段の生活の様子から把握していると思う。その点については答弁していただいたように、学校と市教育委員会との連携で漏れがないように進めていただいているということによろしいか。

- (次長) 要保護，準要保護等の困窮世帯について，給食費は徴収していない。さらに，第3子についても無償ということで，鹿嶋市では無償化に関して一定程度充実しているのではないかと考えている。もし滞納しているのであれば，児童手当の現金支給の際にお話ししながら回収している。
- (委員) 家庭的保育事業所が1か所開設されたということで，研修を受けられた方が，一般的な保育園と違って，家庭において保育を行うということかと思うが，具体的にその1か所というのは，どういう場所で，どのような規模で行われているのかお聞きしたい。
- (部長) 家庭的保育事業所は宮中厨の鹿島泉会の鹿島いずみ園に隣接した形で5人程度の子どもたちを預かれるように建築したものとなっている。
- (委員) 鹿島泉会は保育園を運営しているが，保育士が有資格者ではないということか。
- (部長) 家庭的保育事業所というのは保育所や認定こども園ではなく，自分の家で保育するものというイメージで制度化されたもので，都市部であればあるとは思いますが，実際，茨城県ではこの制度を設けたものの，なかなか手を挙げるところがない。
- (委員) 一般の方が子育て支援としてやられているのかと思っていたが，法人の方が運営されている。
- (部長) 研修を受けられた方が子育て支援員として働いている。
- (委員) コロナ禍における不況への経済的支援ということで，鹿嶋市は従来からの奨学金で対応していくということだったが，神栖市では，神栖市キャリア育成支援金というものがあるが，神栖市内にある3つの高等学校の在校生で，神栖市在住の新高校1年生の中から神栖と波崎から10名，柳川が8名，合計28名の生徒に10万円を支援金として給付する。神栖市は進学希望の子どもたちは他県の佐原や銚子に流れてしまうという傾向があり，その子たちは地元になかなか帰ってこない。そういう問題を解決するという理由もあったようだが，神栖在住の子どもたちに将来神栖市で医療，教育，福祉などの分野で活躍し，地域に貢献してもらいたいとの思いもあるよう

だ。

神栖市は医学部の学生に対しても手厚い支援を行っており、神栖市で将来医師となって一定期間、働いてくれば返還が免除になるというような制度があるとは聞いていたが、医学ではなく、一般の分野でも始まったということだった。進学支援というよりも、在学支援になると思うが、高校1年生でも、経済的支援が受けられて、自分の夢の実現のために勉学に励むという、いい制度だと感じたので、鹿嶋でも進学に対する奨学金も大事だが、在学している子どもたちへも経済的支援をしていただけたらありがたいと感じる。

(部長)

現在本市で検討しているかといわれると正直、検討していない。令和3年度の奨学金の貸与者は、募集人数の30人を上回り31名だったがこの中に高等学校生はいない。ここ数年を見ると高校生の貸与者は減少しており、大学生にシフトしている状況である。そのため高校生に対する給付金に関しては、ニーズ等、よく調べなければならない。

(教育長)

縦割りの話になって恐縮だが、やはり教育委員会が行うのは難しい。鹿嶋市に定着して、その職業に就けば返還を免除するという形にするのであれば、その職種が医療系であれば健康福祉部が、制度の必要性があって、こんな風にしたいと設計できるが、教育の段階で職種を決めて、定着すれば返さなくていいとするのは難しい。

(部長)

神栖市の医師の奨学金は健康福祉部の制度設計の元、構築されている。よく議論されるのが保育士の確保について奨学金をと話があるが、検討をするものの制度設計には至っていない。

(委員)

オリンピックのサッカー観戦について、鹿嶋市の小中学生にアンケートを取った結果、6割程度が観戦を希望しているということで、各学校からの送迎については行き帰りバスで行うということか。

(部長)

アンケートを取り、正確には62.5%の方が参加を希望している。送迎について、波野小学校以外はバス移動になる。鹿島サッカースタジアム駅の西側の駐車場に発着し、駅を通過し、北側のゲートから入り、ゴール裏での観戦になる。

(委員)

コロナウイルス感染症が現在じわじわと感染拡大している。なんとも予測がつかないが、万が一感染が広がっ

て、国から緊急事態宣言が発令され、無観客が決まれば、鹿嶋の子どもたちも観戦が中止になるのか。

(部長) 当然国の指針に沿った形での応援になるので、無観客となれば残念ながら中止ということになる。

議会でも感染症対策を万全にして実施してほしいという話がでており、感染症対策としては、開催前2週間の体温、健康チェック、バス乗車時、降車時の新しい生活スタイルの実践、スタジアムに向かうまでは、市職員、スタッフが交錯しないで対応すること、スタジアム内では応援席が区画されるので、他の方々と接触しないような応援スタイルになる。

(委員) 子どもたちは間隔を取った、密集しない形での観戦になるのか。

(部長) 4万人収容のスタジアムに1万人の入場者なので、余裕のある着席になると思う。

色々問い合わせはするのだが、組織委員会から返事が返ってこないなので、まだはっきりしたことは言えないところがある。

(委員) 先日の新聞に鹿嶋市のオリンピックボランティアを対象に希望者に対してワクチンを接種した。また、児童生徒の送迎を担当するバスの運転手にもワクチンを接種したという記事をみた。ボランティアの方も強制ではないので、希望者のみだと思うが、バスの運転手は当日までにワクチンを接種していくことになるのか。

(部長) 子どもたちとかかわる人達にはできる限りワクチン接種をするように努めており、学校の先生、運転手、保護者の随行者、市職員がかかわるということで、学校の先生についてはワクチン接種のキャンセル対応ですでに400人程接種しており、今後も空き次第接種してもらい、できるだけ多くの人に接種してもらおうと考えている。運転手については、同様にワクチンを接種する機会があれば、お願いしたいと考えている。市職員については、今後のワクチン接種として1回目のキャンセル対応であれば自動的に2回目を打てるが、今後発生するのは2回目のキャンセル対応ということで、そこに市職員を充てていこうということで考えており、オリンピックに関わるスタッフは接種するように努めていく。また、随行者に関する保護者に関してはできるだけ接種してほしいと考えているが、この事業によって新たに子どもたちに接触するわけではなく、通常的生活ですでに接触しているため、

優先枠を確保して接種してもらおうという位置づけにはなっていない。7月の上旬に接種券が郵送されるので、それをもってできれば打ってほしいと思っている。2回とは言わないが、最低1回でも打ってもらえればいくらか影響があると考えている。

(委員)

社会教育課の範疇かと思うが、過日、鹿島神宮において、祭頭囃保存会の総会があり、7月4日の聖火リレーの出発式の時に祭頭囃で景気をつけようということで、祭頭囃楽士保存会から1組と溝口郷から3組、計4組で囃す予定になっている。

今のコロナのワクチンに関連して、当日は大人ばかりでなく、子どもたちも来るので、その子どもたちの感染予防のことも含めて考えてほしいという思いで、それらしきことは伝えたが、なかなか難しいという話だった。

7月4日の出発式については、関係する人はできればワクチンを接種して臨むとした方がベターなのかなと考えている。そのような話が出たということを伝えていただきたい。

(部長)

祭頭囃子が囃されるということは聞いているが、出発式の内容を、詳しく聞いていないので確認する。

・日程について

5 閉会

教育長から閉会が宣言された。